



世界動物園開園！

七尾フラワーパーク開園10周年！

開園10周年を迎えた「のと蘭ノ国」。この記念を祝し、「世界大動物園」が7月4日（日）までの72日間開催されています。動物は60種120頭羽、サル劇場をはじめフラミンゴショーなど多彩なアトラクションで来園した市民を楽しませていました。動物をより身近に見てもらえるように動物との距離は金網のみ。かわいい動物に餌付けする家族連れ。迫力ある動物にびっくりする子どもたち。普段見ることができない動物に触れ合っていました。ゴールデンウィーク中は大盛況だったこのイベント。「交流体感都市七尾」のひとつの名所となっているのでは？！



【4月24日（土）；七尾フラワーパークのと蘭ノ国】

七尾新名所！「別所岳展望台」

能登有料道路別所岳サービスエリア展望台完成



【4月25日（日）；能登有料道路別所岳サービスエリア】

「別所岳サービスエリア展望台」が完成した七尾市の新名所。この展望台は、能登半島地震の復旧工事に利用した土砂採取場跡地を活用し、震災からの復興のシンボルとして建設されました。

ここからの眺望は七尾湾が一望でき、天気次第では立山連峰までが！また、能登半島地震で発生した能登有料道路の崩落現場（復旧済）も見ることができ、風化してはならない地震の教訓を思い出させるところでもあります。緑を再生するため、能登に自生する13種類の樹木も植樹され、この展望台は七尾の顔（名所）として市民や観光客に親しまれる場所となるでしょう。

5月5日といえば鯉のぼり

～このぼりを庁舎に掲げて子どもの日を祝う～

5月5日は子どもの日。子どもの日と言えば端午の節句。端午の節句といえば鯉のぼり。鯉のぼりは子どもの健やかな成長を願い、いろいろな行事を行う風習となっています。

4月28日、保育園や幼稚園の園児約90名が七尾市役所庁舎前に集合。園児による鯉のぼりの掲揚やひまわりの種をぶらさげた風船を子どもたち一人ひとりが夢や希望を込め、一斉に大空へ飛ばすセレモニーがありました。高く飛んだ風船を眺める子どもたちの顔は、希望に満ちた満面の笑み。

私たち大人が忘れかけた表情を思い出させるひと時でした。



【4月28日（火）；七尾市役所前】

幸せいっぱいのお通妻！

花嫁道中・花嫁のれん展開催

今年も一本杉通りで花嫁道中・花嫁のれん展が開催されました。今年の花嫁道中は地元一本杉出身の通竜太さんと亜希さん。花嫁道中のきっかけは竜太さんが「せっかく地元でこんないいイベントがあるのであれば参加したい」という話から実現しました。

昨年のはじめて花嫁道中を見たという亜希さん。「まさか、私が参加するとは。けど、通家ののれんをくぐったとき、通家に嫁ぐことを実感しました」と、照れくさそうな顔で話をしていました。

幸せいっぱいのお通妻から、花嫁のれん展や青柏祭とこれからの七尾市はお祭りムード一色になります。



【4月29日（木）；一本杉通り】

待望の「松林図屏風」複製完成

「松林図屏風」複製作品完成記念特別公開セレモニー

等伯の代表作といえば、国宝人気No.1の「松林図屏風」。「長谷川等伯没後400年記念」を盛り上げたいという市民や各種団体、企業などの要望から、今回七尾市が制作に乗り出し、待望の「松林図屏風」複製作品が完成しました。4日間で2千人を超えるファンが来館。

東京や京都で開催された特別展覧会を見た来場者は「複製とはいえ、生誕地で見るこの作品は意味深い。次に公開されるときにはまた見に来たい。」この作品を通じ、完成までに携わった方々の思いや七尾市民として誇れる長谷川等伯を再認識し、後世に受け継いでいくことが私たちのこれからの課題ではないでしょうか。



【5月2日(日)；七尾美術館アートホール】

画家片岡鶴太郎がガラス作品制作

片岡鶴太郎ガラス作品展



【5月7日(金)；能登島ガラス工房】

俳優や画家として活躍している片岡鶴太郎さんが能登島ガラス美術館を訪れ、館内を見学。その後、すぐにガラス工房に入り、能登島ガラス作家佐野安正さんとガラス作品の制作に取り組みました。2人は初対面。片岡さんの独創的な発想と佐野さんのガラス制作技術で絶妙なコンビネーションを披露し、2点の作品が完成。2つ目に作り上げた花器の作品は納得がいった模様。「能登の自然をイメージにパープルのバラかケシの花を生けたら最高の作品になるのでは?! 能登はガラスや漆など素材が豊かな地域であるから退屈しない。機会があれば、再び能登に来たい」と能登への強い想いを抱いた片岡さんでした。

看護の心をみんなの心に

2010年「ふれあい看護体験」

「ふれあい看護体験」って知っていますか? 社団法人石川県看護協会が、看護することや人の命について理解と関心を深める機会にと毎年実施しています。

5月12日(水)に恵寿総合病院で実施した看護体験。3人の方が参加され、緊張している様子で体験がスタート。

将来、医療関係の道に進みたいという七尾東雲高校3年の津海さんは「非常に緊張しています。けど、患者さんの気持ちを考えて、看護体験を経験し、看護師になれるよう努力したい。」高齢社会などで看護が注目を集めている世の中。このような若い力がこれからの明るい看護を支える原動力になるのでは?!



【5月12日(水)；恵寿総合病院】

小さな消防士さん!

能登島子ども消防クラブ入部式

子ども消防クラブは平成元年に発足。今年で22年目を迎え、活動としては消防施設の見学や実際に消火などを体験。これらを通じ、防火活動の大切さなどを理解してもらい、クラブ員が友達や家族へと防火活動の大切さを伝えることが活動の目的。

平成22年度のクラブ員は15名。入部式が始まる際、消防署員から大きな声で号令が! かわいい制服を着た子どもたちはびっくりした表情。しかし、すぐその後には凛々しい表情へと変わり、大きな声で消防クラブの「7つの誓い」を宣言。委員長を務める能登島小学校6年生高瀬悠人君は「たのしく消防のことを学びたいです。」と、小さな消防士さんの意気込みが感じられました。



【5月20日(木)；七尾消防署能登島分遣所】